



◆ TOPIC ◆ 最新の入試動向・受験情報

新たな公立大学・公立の学部を知っておく

昨年度から今年度に向け、公立大学新設や公立大学の学部設置が多くありました。表に示したように例外的な日程、つまり私大と同じような別日程や、中期日程で入試を実施するケースがあります。受験生の認知が十分に進んでいないと思われます。別日程受験の場合、公立で滑り止め確保という手も考えられます。また前期後期以外に中期日程をプラスしてチャンスを増やすことも可能です。3年生で表のような学部を目指している人は是非出願校の一つとして考えてみましょう。

大学名	学部	定員	前期	後期	中期	別日程
公立小松	国際文化交流	80	-	-	-	60
	生産システム科学	80	-	-	-	60
	保健医療	80	-	-	-	60
諏訪東京理科	工	300	-	-	-	208
長野	社会福祉	150	50	-	25	-
	環境ツーリズム	95	30	-	27	-
	企業情報	95	30	-	27	-
長野県立	グローバルマネジメント	170	70	-	60	-
	健康発達	70	40	-	6	-
名古屋市立	総合生命理学	40	-	40	-	-
山口東京理科	薬	120	-	-	90	-

全国的な志望動向 一文系人気

経済経営 107%、法政治 104%、文人文 104%、生活科学 105%、理 97%、工 99%、農 92%、教員養成 93%。この数字は昨年度の志望者数（国公立の場合）を100とした今年度の志望者数を表している。文系志願者が多く、理系の志願者がやや少ない傾向があるのが今年度の傾向です。また教員養成系の志望者が減少していることも特徴的です。文系は出願を慎重に行った方が良いでしょう。理系は少々強気な出願も有りです。でもいずれも「大学によっては」という断りつき。センター試験の結果を受け担任としっかりと相談しましょう。

センター試験 出願数は昨年並み? -まだ100点増やせる-

センター試験出願数は52万8千超（10月6日速報）。数は昨年並みになる見込みです。本校も96%出願しました。センター試験まで1か月を切りました。いよいよ追い込みが本格化する時期です。特に理科や社会は追い込み科目とされています。過去の先輩たちを見てもここからまだまだ得点を増やした先輩が何人もいました。年末年始は人生を左右する3週間になるでしょう。最後の力を振り絞って乗り切りましょう。（文責：岡崎）

♪3年の窓♪ どんな時でも当たり前のことを普通にできる人であれ!

いよいよセンター試験まで27日、1か月切りました。また1年のうちで一番昼の時間が短くなる季節です。夜もすぐに暗くなり、朝もまだ暗いですね。さらに気温もぐっと下がり、これまた、1年で一番寒い季節を迎え、それと同時にセンター試験も近づいてきていると実感する今日この頃です。

さて、ひと月前になりますが、11月19日の進路説明会はどうだったでしょうか。今年の雪の中でのセンター試験の様子のスライドも見て、実感がわき、緊張感も高まったのではないのでしょうか。しかし、実務的なことも、詳しく、例えば調査書の発行願のこと、願書の取り寄せ方法、出願までの日程の調整などいろいろ説明を受けました。

いよいよ、それぞれの人が自分の進路をじっくりと考えながら、準備を進めていく時期になりました。決して他人ごとではなく、自分でセンター試験からその他の受験まで克服していかねばなりません。「何とかなるさ!」というおおらかな気持ちももちろん必要ですが、あまりにも大雑把でいい加減にしていっては話になりません。解らないことは、自分だけで判断せずに、周りの人に必ず聞きながら、相談をしながら、進めていくことも大切です。完璧に準備したつもりでも、必ずミスがあると考えて、念には念を入れて慎重に進めていくことも必須です。絶対に後悔が残らない過ごし方をしてください。しっかりと準備していきましょう。さらに、周りの人たち、特に家族の方も大変ですから、支えてくださっていることに感謝の気持ちを忘れないで、謙虚に行動していきましょう。

加えて、みんなは受験生であると同時に、3月には卒業生になります。堂々と、多治見高校生としての誇りをもって卒業してほしいし、その姿を後輩にも身をもって示してほしいです。最後まで身だしなみはきちんとし、授業にも真剣に取り組ましましょう。自分がやるべきことは責任をもって果たしましょう。目の前の損得だけを考えることはしないように、また、「受験」を言い訳にしないように、清々しく過ごしてください。当たり前のことを当たり前に、これが一番難しいのですが、人生における最大困難時の一つであるこの受験の時にこそ、当たり前のことを普通にできる人になってください。（文責：松村）

♪2年の窓♪ ゼミ学習について

少し前にゼミ学習が始まった思えば、すでにもう大詰めをむかえています。多くのゼミでは最終発表が始まっているのではないのでしょうか？さて、今回は総合的な学習の「ゼミ学習」について書きます。

皆さんは、6月に説明した「ゼミ学習」に取り組む理由を覚えていますか？

(1) 大学の学習で重要とされるスキル（討論・プレゼンテーション・レポート作成など）を知り、自分の考えていることを表現・伝達する力を伸ばす。

(2) 大学で学ぶ学問や職業など、自身の進路について検証し考える機会とする。

(3) 同じ興味関心を持つ生徒が集まり研究することで、話し合いや討論の中から新たな考えや解決策を導き出す流れを学ぶ。また進路への意識・知識を高め刺激し合う。

(4) 研究内容が推薦入試の志望動機・小論文入試の専門知識として活用できるようにする。

以上の4点が、ゼミオリエンテーションで説明した「ゼミ学習」に皆さんが2年生で取り組む理由でした。改めて上の4点を踏まえゼミ学習に取り組んで下さい。最後に、皆さんに発表する際に心がけてもらいたいことをまとめます。

その1 説明する順序を工夫する

- ・重要度の高いテーマや結論から述べる。
- ・全体の流れを話してから、詳細を説明する。
- ・聞く相手の知識に合わせて話す。（相手が知らないことは丁寧に説明する）

その2 発表の際の「声」を意識する

- ・自身をもって大きな声で話す。
- ・緊張して早口にならないようにする。（特に大切なところはゆっくり話と良い）

皆さんのゼミ学習が、実りあるものになることを期待しています。（文責：立田）

♪1年の窓♪ 冬休みを上手く活用！

高校での学力は着実についてきていますか？定期考査や進研模試での成績は満足できるものでしょうか？

この冬休みは、家族と一緒に将来の進路目標を明確にし、今までの心構えや学習方法を見直す機会としましょう。

- ・将来の職業、志望大学を公言する
- ・教科書を見直し、基礎・基本を確実に身に付ける
- ・問題集（ワーク）を繰り返し取り組む
- ・苦手科目をそのままにしない
- ・毎日の学習時間を確実に確保する
- ・勉強の質を高める（集中して取り組む）
- ・受験を甘く見ない
- ・成績が悪いのを周りのせいにならない

進研模試のデジタルサービスの活用

『職業まるわかり講座』の日に各HRでカードを配りました。登録はできていますか？登録しておく次のようなサービスを利用することができます。

- ・自己採点
- ・解けなかった問題をWEB解説で理解することができる（詳しく説明されています）
- ・成績、答案をいち早く知ることができる（学校で配られるのは約1週間後です）
- ・次回の模試の目標設定ができる
- ・志望校の設定や3年生になると判定を受けることができる

などがあります。

SNS、ゲームなどでスマートフォンを学習の妨げにするのではなく、大学進学のために上手く利用しましょう。この冬休み、デジタルサービスを利用して、10月の進研模試の振り返りをしてみませんか？

（文責：西崎）

